

平成27年度の名古屋市博物館(蓬左文庫・秀吉清正記念館)

1階展示室

特別展 4/25 6/7 いつだって猫展



歌川国芳「流行猫の曲鞠」個人蔵

今も昔も猫は大人気。ときには美人の魅力を引きだてるマスコットとして、ときには恐ろしい妖怪として、さらには福を招くシンボルとして、猫は変幻自在に江戸の世界を駆けめぐっています。本展では浮世絵を中心に、江戸時代後期に巻き起こった「猫ブーム」をご紹介します。

2階展示室「尾張の歴史」

フリールーム 常設展の中の展示替えコーナー。長期間展示できない資料や新収資料などを中心に小規模な企画展示を開催。

中林竹洞 4/26 4/29 秀吉文書を読む 5/31 6/2 よみがえれ文化財 7/5



竹洞所用印

中林竹洞は江戸時代の名古屋を代表する南画家です。絵画と新たに寄贈された印章を紹介します。 秀吉が出した手紙は年号が書かれていないものがほとんどです。内容や様式から年代を推定します。 豊臣秀吉朱印状 伊勢参宮図屏風、古墳時代の鉄刀など、皆さまの寄附によって修復できた資料をお披露します。

中林竹洞 小牧長久手の戦い 4/26 4/29 5/31 6/2 よみがえれ文化財 7/5

テーマ10 近世尾張の文化「茶どころ、芸どころ」とうたわれた名古屋城下の文化的な繁栄ぶりを、絵画や工芸品などの定期的な展示替えによりご覧いただけます。 テーマ16 まつり名古屋城下や近郊に多くある山車上で精密な動きをするからくり人形や、まつりの道具を紹介。 西區比良 二福神車の采振り人形 6/21 6/24

イベント・セミナー 歴史体験セミナー 遊びながら、昔の暮らしを体験してみよう。 ②、③の会場は展示説明室。開始の30分前から受付。要事前申込み。応募者多数の場合は抽選。 ④応募は、往復はがき(1通につき1講座のみ・2名まで)、またはhttps://www.e-shinsei.city.nagoya.jp(名古屋電子申請サービス)でご応募ください。詳しくは、博物館公式ホームページにてお知らせいたします。

はくぶつかん講座 講師は当館学芸員。14時開演(13時30分開場)。 会場は展示説明室。聴講無料。各回、当日先着100名。 はくぶつかん講座① 5月23日(土) 北斎・広重・国芳 風景版画 魅力のからくり はくぶつかん講座② 6月20日(土) よみがえれ文化財 はくぶつかん講座③ 7月4日(土) モノから考える長篠合戦 はくぶつかん講座④ 7月25日(土) 青銅鏡と中国史-松本勝弘氏収集古鏡より はくぶつかん講座⑤ 8月29日(土) まつり・見世物・つくりもの はくぶつかん講座⑥ 9月19日(土) 子どもたちが見た伊勢湾台風 はくぶつかん講座⑦ 10月17日(土) 聞き取り 名古屋の衣生活

7月6日〜13日は館内点検のため休館します。

特別展 7/18 9/27 魔女の秘密展



ルイ・モーリス・ブーテ・ド・モンヴェル「サバトへ行く前のレッスン」ヌムール城博物館蔵 ©RMN-Grand Palais / René-Gabriel Ojéda / distributed by AMF

アニメなどにも取り上げられる人気のテーマ「魔女」。ヨーロッパでは古くから、悪魔と契約し、超自然的な力で災いをもたらすものとして、人々は恐れ、その存在を信じ、共存していました。中世末から近世、災いの元凶として魔女に仕立て上げられた人々が「魔女狩り」によって迫害を受ける時代がありました。本展では「魔女」の歴史と真実をご紹介します。

7/14 方格四獣画像鏡 中国古代理の青銅鏡 松本勝弘氏収集古鏡コレクション

市内在住の個人が収集した、140面にのぼる青銅鏡。貴重な優品を含むその秀逸な収集資料から、優品および主要な資料を展示し、中国古代理の鏡文化をご紹介します。

江戸時代、祭りや見世物に登場したつくりものは色々な素材で造られました。「尊い仏様をこんなもので？」意外性を楽しむ つくりもの世界をお楽しみください。

まつり・見世物・つくりもの カゴ細工の獅子

9/13 9/15 台風記 子どもたちが見た伊勢湾台風

伊勢湾台風被災直後に小学生が書いた作文から、子どもたちの経験や思い、そして、強く生きる姿を紹介します。

浅葱絵子地亀甲菊模様小袖 松坂屋コレクション 子鹿の背のまだらに似た独特のかたちで今も愛され続ける鹿(か)の子絞りを、江戸時代の小袖から紹介します。

9/13 9/15 鹿の子絞り 技法から見た江戸時代の小袖

企画展 10/17 11/29 ジングルにひそんで28年 横井庄一さんのくらしの道具



横井さんが自分で作った服

昭和47年(1972)、グアム島で元日本兵横井庄一さんが発見されました。発見された時、横井さんは自分で作った服を着ていました。また、多くの生活道具も自分で作っていました。本展では、横井さんのグアム島での生活道具をご紹介します。

10/25 10/28 森川コレクション

茶人森川如春庵の別邸「田舎家」が、当館で再現されることとなりました。「森川コレクション」の中から、「田舎家」の茶会で使用された道具類を中心に紹介します。 *「時雨」の展示は11/3(火・祝)-12/6(日)まで

森沙鷗(さおう 1783-1843)は名古屋で活躍した俳人であり、酒造業井桁屋主人でもありました。井桁屋の営業に関する資料・沙鷗の俳諧作品・全国の俳人からの書状などを展示します。

10/25 10/28 森沙鷗 森沙鷗短冊

特別展 12/12 名古屋めしのもと



食品サンプル(みそ煮込みうどん・きしめん・みそかつ)

みそかつ、きしめんなどの「名古屋めし」は日本中から注目され、とても人気があります。本展では醸造道具や絵巻を通じて豆みそ・たまりしょうゆを紹介し、新聞記事や写真記録、アンケート調査の成果から食の思い出を振り返り、「名古屋めし」の背景にある文化を探ります。

12/20 12/23 くらしのうつりかわり

冷蔵庫やあんどんなど、この100年あまりの間に用いられてきた、くらしの道具を紹介いたします。小学校3年生社会科学習に合わせた展示です。

12/20 12/23 くらしのうつりかわり

企画展 2/14 2/27 3/27 陸前高田のたからもの



修復されたリードオルガン 陸前高田市立博物館蔵

2011年3月11日に東北地方をおそった大地震で被災した博物館資料の保全・修復状況をご紹介します。陸前高田市で被災した資料を中心に、地域の歴史・文化を伝える「たからもの」を取り戻すことの意義を考えます。あわせて、本市が「行政丸ごと支援」を行っている陸前高田の歴史・文化に触れていただきます。

3/21 3/23 親鸞聖人750回忌 東別院の重宝

真宗大谷派名古屋別院(東別院)は、元禄3年(1690)に建立された名古屋市内最大級の寺院で、「御坊さん」の名で親しまれています。親鸞聖人750回忌を記念して宝物を精選して公開します。

3/21 3/23 東別院の重宝

東区筒井町 8/23 8/26 中村区下花車 10/25 10/28 名古屋南部の大人形 1/24 1/27 ひな人形 3/27

歴史体験セミナー① 7月14日(火)~8月30日(日) 7月14日(火)~8月30日(日) 自分だけのまが玉づくり コマやお手玉など、昔のおもちゃで遊んでみましょう。 9時30分~16時30分 参加費 無料/場所 2階ロビー 8月1日(土)・2日(日) はくぶつかんのなつまつり 7月19日(日) まろじえくど 名古屋市立大学博物館サポーターサークルMAROとともに「体験型謎解きゲーム」 8/23 8/26 自分で作ったまが玉 11月21日(土)~29日(日) はくぶつかん古書市 11月28日(土)・29日(日) 考古学セミナー あいちの考古学2015 最新の考古学の調査・研究の成果を講演、セッション、パネル展示などで紹介。 はくぶつかん講座⑧ 11月14日(土) 学童疎開日記を読む

歴史体験セミナー③ 2月20日(土) おいしく作ろう おこしもん ひなまつりゆかりの郷土菓子「おこしもん」を作ります。 ●事前申込みが必要です。 申込期間1月6日(水)~1月31日(日) ①10時~11時 ②11時30分~12時30分 定員:各回60人/参加費:1人400円

*展覧会名称や会期等の詳細は今後変更される場合があります。最新情報は博物館公式サイトで。http://www.museum.city.nagoya.jp/

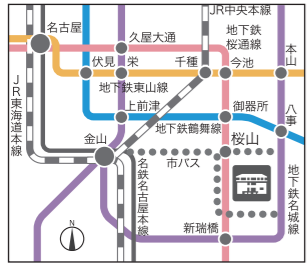
■ 利 用 案 内 ■

名古屋市博物館

〒467-0806
 名古屋市瑞穂区瑞穂通1-27-1
 電話052-853-2655 ファックス052-853-3636

□開館時間 9時30分から17時(入場は16時30分まで)
 □休館日 毎週月曜日(祝日にあたるときは、その直後の平日)と毎月第4火曜日(祝日を除く)、館内点検(7月6日~13日)、年末・年始(12月29日~1月3日)

□観覧料
 ●常設展 一般300(250)円、高大生200(150)円、中学生以下無料。
 ※()内は30名以上の団体料金。市内在住の65歳以上の方100円(要敬老手帳等)
 ●特別展・企画展 そのつど定めます。



2015(平成27)年7月6日~13日は、館内点検のため、休館します。ご注意ください。

お出かけは公共交通機関で。

□交通 ●地下鉄桜通線「桜山」下車、4番出口から南へ徒歩5分
 ●金山バスターミナルから 市バス 金山14系統(桜山経由)「博物館」下車
 □駐車場 70台収容 普通車:1回300円 大型バス:1回1,200円
 □最新情報は博物館の公式サイトで <http://www.museum.city.nagoya.jp/>

名古屋市蓬左文庫

〒461-0023
 名古屋市東区徳川町1001
 電話052-935-2173 ファックス052-935-2174

□開館時間 10時~17時(入室は16時30分まで)
 □休館日 毎週月曜日(祝日にあたるときは、その直後の平日)、特別整理・年末年始休館 12月15日~1月3日

□観覧料 一般1200円 高大生700円 小中生500円(徳川美術館と共通)
 □交通 ●名古屋駅、栄より 市バス(基幹バス2号系統)・名鉄バス「徳川園新出来」下車、徒歩3分
 ●JR中央線「大曽根」下車、南出口より徒歩10分

名古屋市秀吉清正記念館

〒453-0053
 名古屋市中村区中村町字茶ノ木25(中村公園文化プラザ2階)
 電話052-411-0035 ファックス052-411-9987

□開館時間 10時~17時 □観覧無料
 □休館日 毎週月曜日(祝日にあたるときは、その直後の平日)と第3金曜日(祝日を除く)、12月29日~1月3日
 □交通 ●地下鉄東山線「中村公園」下車、3番出口から北へ徒歩10分

■名古屋市博物館■

名古屋市博物館は、1977(昭和52)年に開館した歴史系の総合博物館です。わたしたちの祖先が残した考古・美術・歴史・民俗に関する資料を集め、保管・保存し、公開しています。

1階 特別展示室・部門展示室



特別・部門展示室では、尾張地方の歴史・文化の特色を明らかにする企画展や、国内外のすぐれた文化遺産を紹介する特別展を開催します。



ミュージアム・ショップ
 オリジナル・グッズ、歴史書などを販売。1階「考える人」隣り。

3階 ギャラリー

市民の作品発表の場として多くの展覧会が開催されます。



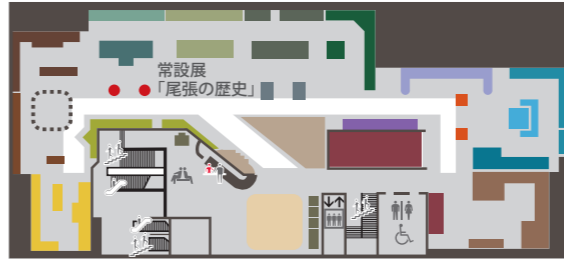
喫茶コーナー

くつろぎの場所としてコーヒーと軽食を用意しています。無料休憩所も併設。博物館の建物を出て左にあります。

表紙写真: いくつか猫展 歌川国芳「たとえ尽の内」部分(個人蔵)
 魔女の秘密展 テレーザ・フォトドログナ・リース「魔女」1895年(ウィーン博物館蔵) ©WIEN MUSEUM KARLSPLATZ
 横井庄一さんのくらしの道具 横井さんが作ったエビやウナギをとるカゴ
 名古屋めしのもと 「醸造絵巻」部分(キッコーナ株式会社蔵)
 陸前高田のたからもの「青い目の人形」(陸前高田市立気仙小学校蔵)

2階 常設展「尾張の歴史」

2階展示室では、常設展「尾張の歴史」を開催。原始から続くこの地方の歴史を16のテーマに分けて紹介しています。



時代	テーマ	
日本の国の成りたち	1 旧石器・縄文弥生	
	2 古墳時代	
	貴族の世の中	3 奈良
		4 平安時代
	武士の世の中	5 鎌倉時代
		6 室町時代
武の世の中	7 桃安山土	
	8	
	9 10 江戸時代	
	11	
近代	12 13 明治	
	14 大正	
	現代	
平成		

- 狩猟・採集の時代
- 稲作のはじまった頃
- 古墳とその時代
- 古代の尾張
- 窯業
- 中世の尾張
- 尾張の統一と信長・秀吉
- 尾張藩の成立
- 城下町の人々
- 近世尾張の文化
- 幕末維新の尾張
- 名古屋市の成立と近代産業
- 近代のくらしと文化
- 戦争と市民
- なりわい
- まつり

テーマ10「近世尾張の文化」、テーマ16「まつり」は定期的に展示替えをおこないます。この他に小規模な企画展示をおこなう「フリールーム」、話題を集める資料を展示する「話題のコーナー」(随時)があります。これらの展示予定は裏面「平成27年度の名古屋市博物館」をご覧ください。その他のテーマでも、随時、展示替えをおこなっています。

※ボランティアによる解説をおこなっています。お気軽に声をおかけください。

※おもな展示資料を解説する音声ガイドも利用できます。日本語(大人向け、子ども向け)、英語、中国語、ハンダ語
 利用料: 一般200円、小中学生無料



名古屋市蓬左文庫

企画展示
尾張の茶道と香道

4/11

企画展示
異国への窓
 -阿蘭陀・波斯・印度-

6/7 6/10

企画展示
殿様が愛した鳥たち

7/26

徳川美術館・蓬左文庫開館80周年記念特別展
没後400年 徳川家康
 -天下人の遺産-

8/1



徳川家康画像(東照大権現像)

刀剣・武具・茶の湯道具・衣類・書籍など、尾張徳川家に伝来した家康の遺産を通して家康の生涯をたどります。

9/13 9/19

徳川美術館・蓬左文庫開館80周年記念特別展
豊かなる朝鮮王朝の文化



内訓(朝鮮銅活字本)

家康旧蔵の朝鮮本、高麗・朝鮮美術の名品などを通して、朝鮮王朝の豊かな文化を紹介します。

11/8 11/14

企画展示
源氏物語の世界
 -平安の恋物語-

12/13

12月14日
 特別整理・年末年始休館
 1月4日

1/5



蓬左文庫開館当時の徳川義親氏

徳川美術館・蓬左文庫開館80周年記念
コレクションが語る蓬左文庫のあゆみ

開館してから80年を迎える蓬左文庫の歴史とコレクションの全貌に迫ります。



鶏頭鉦銅印 印文「蓬左文庫」

名古屋市秀吉清正記念館

特集展示 **若き日の秀吉** -物語の中の秀吉像-

パネル展 豊国神社

5/24 5/26

7/5

7月6日~7月13日
館内点検のため休館

夏休み特集展示 **秀吉の合戦**



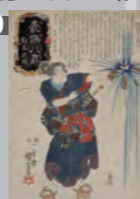
ヒロード陣羽織

秀吉の得意な戦法、戦場でのファッションなどを紹介します。

パネル展 名古屋の城

8/30 9/1

特別陳列 **秘められた暗号** -浮世絵にみる秀吉・清正-



浮世絵に隠された戦国武将の姿をさぐります。歌川国芳の武者絵など約100点を展示。

歌川国芳「豪傑八景 鞍馬夜雨 御曹子牛若丸」名古屋市博物館蔵

パネル展 前田利家

11/23 12/1

1/31

特集展示 **武将清正の逸話** -物語の中の清正像-



東錦昼夜鏡

歴史画に描かれた加藤清正のエピソードを紹介します。

*資料写真で所蔵者名を記載していない資料は各館蔵